

# 福島第一原子力発電所 協力企業作業員におけるAPD・ガラスバッジ不携帯について

< 参考資料 >  
2020年6月3日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

## 【概要】

- 本日（6月3日）午後1時20分頃、旧登録センターにおいて清掃作業を行っていた協力企業作業員が、作業後、旧登録センター内で着替えを行った際、APD・ガラスバッジ※1を旧登録センターに置き忘れたと報告を受けました。
- この結果、旧登録センターから入退域管理棟の間※2をAPD・ガラスバッジ不携帯でバス移動しました。
- その後、同じ作業を行っていた同僚作業員が、入退域管理棟から旧登録センターに戻り、置き忘れたAPD・ガラスバッジを回収し、入退域管理棟に待機していた当該協力企業作業員へ届け、当該協力企業作業員は入退域管理棟から通常通り退域しています。
- APD・ガラスバッジの装着ルールとして、APD・ガラスバッジを首ひもにかけて着用し、首から外さないことが原則であり、外した場合は、カゴに入れて管理し、着替え後に速やかに着用すること、ならびに旧登録センター等から退出する際は着用していることを確認することとなっていたものの、外したAPD・ガラスバッジをカゴに入れず棚にかけ、装着確認は、退出時に確認しておりませんでした。
- 今後、APD・ガラスバッジを置き忘れた経緯等、詳細を確認し、再発防止に努めてまいります。
- なお、入域から清掃作業後までの間においては、APD・ガラスバッジを適切に携帯していたと報告を受けています。

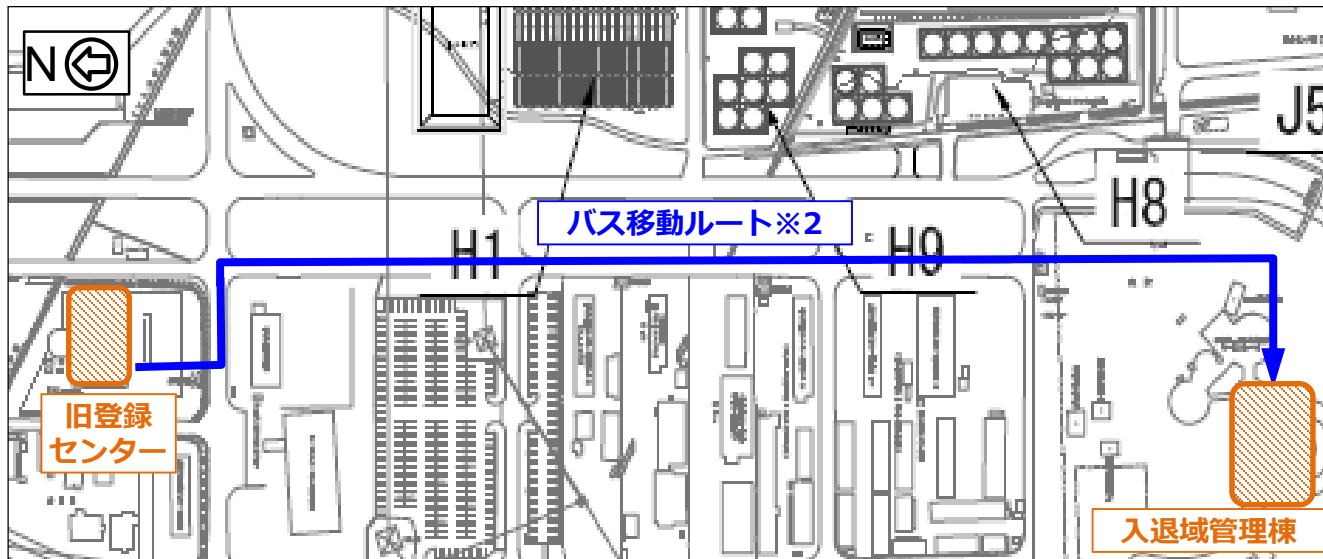


図. APD・ガラスバッジ不携帯で移動したルート

## 【APD値・汚染状況】

APD値:  $\gamma 0.00\text{mSv} \times 3$   
 $\beta 0.00\text{mSv} \times 3$   
汚染 : 無し

- ※1: APD(警報付ポケット線量計)  
ガラスバッジ(積算線量計)
- ※2: 追加装備不要で移動可能エリア  
雰囲気線量 : 約 $0.002\text{mSv/h}$   
移動距離(バス): 約700m  
移動時間(バス): 約3分
- ※3: 旧登録センターから入退域管理棟  
をバスで移動した被ばく線量につ  
いて今後評価予定